

令和6年飯田市議会第2回定例会一般質問通告表

令和6年5月28日、29日

No.	氏名	項目・要旨
1	小平 彰 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>1 人口減少社会でも住みたい飯田市について</p> <p>(1) 人口減少社会を飯田市はどう考えるか</p> <p>① 飯田市の人口ビジョンを2028年に96,000人としたが現状はどうか</p> <p>② 人口推移をどのように捉えているか</p> <p>③ 飯田市の生産年齢人口について</p> <p>ア 生産年齢人口の変化はどうか</p> <p>イ 働く環境整備の具体策は</p> <p>ウ 飯田市に住むための支援策は</p> <p>④ 飯田市の若年女性の状況について</p> <p>ア 若年女性人口の変化はどうか</p> <p>イ 若年女性が住みやすい環境にどう取り組むか</p> <p>(2) 住みたい生活環境をどう考えるか</p> <p>① 市民の意識に関する基礎世論調査「子どもを産みやすい環境が整備されているか」の状況は</p> <p>② 文化・スポーツ環境の整備</p> <p>ア 移動手段としてAIオンデマンド交通の考えは</p> <p>イ グラウンドの芝生化に向けた整備の進捗状況は</p> <p>ウ 令和元年度に実施した生徒アンケートによるスポーツ以外の文化芸術活動の環境をどう考えるか</p>
2	岡田 倫英 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 リニア中央新幹線の開業遅れが与える影響について</p> <p>(1) 2027年開業が実現できる状況にないとJR東海が公式に示したのを受け、新しい対処が必要ではないか</p> <p>① デザインノートの組み立ては</p> <p>② 駅前広場の維持と活用は</p> <p>③ リニア駅前広場整備に関する3つのプロジェクトの進め方は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	岡 田 倫 英 (会派きぼう) 【 40 分 】	(2) 全市的な土地利用計画の見直しのうちリニア開業を前提とする課題は何か (3) 中期財政見通しは財政の平準化を意識していると理解するが、大型事業の実施時期をどう考えるか 2 児童生徒の運動能力、体力向上について (1) 飯田市の子どもの体力・運動能力が全国平均を下回る傾向が続いているが、原因分析はしているか ① コロナ禍の運動習慣はどうだったか ② 日常生活全般の身体活動量は把握しているか (2) スポーツ庁が運動習慣の二極化対策を提唱しているが、飯田市はどう取り組んでいるか (3) 部活動の地域移行が検討されているが、体力・運動能力向上に資する考え方を持っているか
3	橋 爪 重 人 (新政いいだ) 【 30 分 】	1 能登半島地震から見えてきた問題点、対策はどうか (1) 水道水の供給問題と対策について ① 能登半島地震により水道の供給について被災市の中には断水の解除が遅れていると報道で聞いているが、未だ復旧に至らない要因をどのように想定しているか ② 市内で同様な事例が起こりうる地域はあるか、あるとすればその対策をどう考えているか ③ 今後被害想定を策定する中で、天竜川を渡り供給する水道水を別の系統からも供給できる計画を取り入れたらどうか (2) 能登半島地震により倒壊家屋の撤去が進まない要因をどう捉えているか 2 相続登記の義務化について (1) 相続登記はなぜ必要か、その対策は何か ① 相続登記義務化の内容は ② 今回の義務化となった制度の背景をどう捉えているか ③ 今まで相続未登記の不動産を所有している人が3年以内に行える対処方法はどのようなものか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	橋 爪 重 人 (新政いいだ) 【 30 分 】	④ 市民への周知は今までも行っていると思われるが、義務化になったことに対して今後市としてどのように関わっていくのか
4	古 川 仁 (日本共産党) 【 30 分 】	<p>1 市職員の現状について</p> <p>(1) 令和4年第2回定例会で「市民から信頼される組織」を目指して取り組むとしたが、その後の取組経過は</p> <p>① 全職員へのコンプライアンス研修は</p> <p>② 各種再教育の実施は</p> <p>③ 職員採用による補充は</p> <p>④ メンタルヘルスチェック等の実施は</p> <p>(2) 窓口対応について</p> <p>① 研修や教育が窓口業務に活かされているか</p> <p>② 様々なケースが考えられるが、窓口で辛い思いをされている市民の方を把握しているか</p> <p>(3) 職員配置をはじめとする組織体制や職場環境を整備する責任者としての市長の考えは</p>
5	山 崎 昌 伸 (新政いいだ) 【 50 分 】	<p>1 安心、安全のまちづくりについて</p> <p>(1) 「事前復興」という考え方についての市の認識は</p> <p>(2) 能登半島地震被災地支援派遣職員報告会において、飯田下伊那地域に生かすべき教訓として「倒壊しない建物に暮らすことが最も重要」としているが、これをどう実現しようとしているか</p> <p>① 住宅の耐震化のここ10年の進み具合について、耐震診断数と耐震改修数の傾向はどうか</p> <p>② 飯田市における直近の住宅の耐震化率は</p> <p>③ 飯田市耐震改修促進計画に掲げる「住宅の耐震化率を令和7年度に90%」の目標について達成の見通しは</p> <p>④ 能登半島地震を受けて、耐震改修促進に向けた新たな取り組みはあるか</p> <p>⑤ 耐震化が伸び悩んでいる要因をどう捉えているか</p> <p>⑥ 耐震化の促進に向けてふるさと納税の活用を考えてはどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	山 崎 昌 伸 (新政いいだ) 【 50 分 】	2 コロナ禍における行政の対応について (1) コロナ禍における行政としての対応についての振り返りと検証はどこまで進んでいるか ① 公民館活動の記録を残す取り組みはどこまで進んでいるか ② 取りまとめたものの公表の時期と方法は (2) コロナ禍での対応のあり方から何を学び、次のパンデミックには何をどう生かすか、といった視点での検証がなされているか (3) 次のパンデミックの際の主管部署は危機管理部が妥当か
6	福 澤 克 憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	1 持続可能な地域公共交通、環境にやさしい移動手段について (1) 電車、路線バス、乗り合いタクシーの利用状況をどう分析しているか (2) 自動運転サービス導入時の交通影響評価の状況は (3) 飯田市におけるライドシェアの考え方は (4) 持続可能な地域公共交通を維持していくためには (5) 環境にやさしい移動手段について ① 環境にやさしい移動手段の普及啓発とは ② 自転車市民共同利用システムの廃止の影響は ③ ヘルメット購入支援の状況は(自転車利用者の把握) ④ 電車の輸行、自転車との並行利用の考え方は 2 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて (1) 2024年問題の当地域の状況について ① 運送業、建設業、医師の時間外労働の上限規制の影響は (2) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて ① 国の認定・県の認証制度の市内事業者の取得状況は ② 認定・認証を受けた事業者を支援する市独自の制度資金、利子補給の活用状況は (3) 今後の方向性は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
7	市瀬 芳明 (日本共産党) 【 30 分 】	<p>1 地域共生社会とこれからのPTAの在り方について</p> <p>(1) PTAの認識と位置づけは</p> <p>① PTA加入は任意となっているが、意思確認などはどのように行われているか</p> <p>ア 保護者に対しPTAについての説明や活動目的、加入に対する説明などはどのように行われているか</p> <p>② PTA活動に対し教育委員会として学校側との連携をどのように行っているか</p> <p>(2) PTAを取り巻く変化への対応は</p> <p>① 飯田市PTA連合会における各校正副会長への充て職は必要か</p> <p>② PTAへのICT支援はしていけるか</p> <p>③ PTA会費は就学援助費に含まれるか</p> <p>(3) 地域共生社会を意識したPTCAの考えは</p> <p>① 飯田コミュニティスクールとの関わりについて</p> <p>ア 学校運営協議会委員の中に地域住民とあるが一般公募はあるか</p> <p>イ どの位の地域住民がコミュニティスクールへ関わっているか</p> <p>② 保護者(P)とコミュニティ(C)との連携についてどのように考えるか</p> <p>(4) PTAの在り方を検討するにあたっての考えは</p> <p>① 「子どものため」であることが実感できる時代に合ったPTA活動とはどんなことが想定されるか</p>
8	木下 徳康 (新政いいだ) 【 40 分 】	<p>1 燃やすごみの減量について</p> <p>(1) 現状は</p> <p>① 広報いいだ5月号の記事は燃やすごみの特に生ごみの減量ということでいいか</p> <p>② ごみの減量により望める効果は</p> <p>③ 飯田市の3Rの現状の捉えは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木 下 徳 康 (新 政 い い だ) 【 40 分 】	<p>ア 1人1日当たりのごみ排出量は</p> <p>イ リサイクル率は</p> <p>ウ ごみ処理量当たり発電電力量は</p> <p>④ ごみの減量に取り組むことは環境文化都市宣言をしている市として重要だと思うがどうか</p> <p>(2) 今後の取り組みは</p> <p>① 稲葉クリーンセンターの焼却炉に生ごみをなるべく入れないことが重要と考えるがどうか</p> <p>② 生ごみを分別収集し、リサイクルすることが理想と考えるがどうか</p> <p>③ 分別収集することはオーガニックビレッジ宣言の「環境に配慮した農業」に繋がる重要な側面があると思うがどうか</p>
9	小 林 真 一 (公 明 党) 【 40 分 】	<p>1 飯田市におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の現状とこれからについて</p> <p>(1) DXとマイナンバーカードの関係性は</p> <p>① DXにおけるマイナンバーカードの位置づけは、また普及状況は</p> <p>② マイナンバーカードを活用した本庁と各自治振興センター、またコンビニで交付できる書類に違いはあるか</p> <p>③ コンビニ交付について現状と課題、周知等はどこまで進んでいるか</p> <p>④ マイナンバーカード活用により更に市民サービス向上につながる具体策は</p> <p>(2) 市民サービス向上のためのDXの取り組みは</p> <p>① 押印廃止の現状と市民の反応は</p> <p>② 書かない窓口サービスの現状はどこまでできているか、これからの拡大は</p> <p>③ AIチャットボットの利用状況や回答精度向上に向けた取り組みと現状は</p> <p>④ デジタル弱者を生まないための考え方は</p> <p>(3) 行政の業務におけるDXの現状と今後は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 林 真 一 (公 明 党) 【 40 分 】	① 職員不足や業務量の増加に伴うDXの有効性をどう考えるか、また現状と今後は ② コロナ禍を経てDXによりどのように変わってきたか、また市民ニーズに合った業務ができているか ③ セキュリティ対策の体制はどうか (4) 市の総合計画におけるDXの考え方は ① 中期計画では基本目標13に位置づけられているが、その考え方は ② 後期計画の策定の中にDXをどう位置づけるか
10	永 井 一 英 (公 明 党) 【 40 分 】	1 能登半島地震から学んだ、大規模災害への防災・減災対策について (1) 罹災証明書に関して、迅速な手続きのためにマンパワーの増強や住家の被害認定調査の抜本的な簡略化が課題になっていた。飯田市の認識と対応は (2) 二次避難も課題になっていた。飯田市はどう考えているか (3) 女性の視点を活かした防災・復興対策の重要性が指摘されていた。飯田市は、令和6年度に、避難所開設・運営マニュアルと備蓄品を女性の視点で見直すとしている。防災会議などへの女性の登用が必要だが、構想段階からの女性の参画も必要と考える。具体的にどのように進めるか 2 リニア中央新幹線開業を見据えた都市間交流について (1) 品川区の市民・事業者・行政との交流は、どのようなものがあり、どのように進めてきたか (2) 2015年にオープンした「KAIDO」の背景、目的、経緯と現状は (3) 首都圏の玄関口である品川区との連携について、市長はどう考えるか
11	宮 脇 邦 彦 (公 明 党) 【 40 分 】	1 子どもの幸福を実現する教育について (1) AI時代の「読解力」をどう考えるか ① 「子どもの読書活動の推進に関する法律」とは、どのような法律で、当市はどう生かしているか ② 子ども時代の本との出会い、読書の魅力について、教育長の受け止めは

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	宮 脇 邦 彦 (公 明 党) 【 40 分 】	③ これからの学校での生成AIの活用をどう考えるか ④ 一人一人の可能性を開く教育、自律的学習の基礎をなすのが「読解力」と考えるが、当市の認識は ⑤ 人間形成の教育の実現へ「読解力」をいかに高めるか、市長の考えは 2 誰ひとり取り残さない情報のユニバーサルデザインについて (1) 視覚に障がいのある方の情報取得について、音声コード(Uni-Voice)の利用促進をどう進めるか ① 「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」について、当市の受け止めと取り組みは ② 視覚に障がいのある方の実態把握の現状は ③ 情報コミュニケーション・アクセシビリティに関する相談窓口の設置と取り組み内容は ④ 市の通知書類で、音声コード(Uni-Voice)は活用されているか、また音声コード(Uni-Voice)記載への課題は何か ⑤ 音声コード(Uni-Voice)普及への市長の考えは
12	関 島 百 合 (会 派 み ら い) 【 40 分 】	1 飯田市の文化と文化施設について (1) 飯田市美術博物館を取り巻く状況は ① 今後10年で必要となる収蔵スペースの概算をまとめるとあるが、その根拠は ② 菱田春草、田中芳男、柳田国男を市民にとって身近な存在にするためには ③ 飯田創造館の事業とつながり開催されてきた「現代の創造展」の今後をどう考えるか (2) 飯田文化会館の役割は ① 旧飯田市公民館と飯田創造館で活動してきた音楽グループの使用は ② この地域出身の音楽家や、この地域で活動する芸術家と市民をつなぐことが必要だと考えるがどうか (3) 新飯田文化会館の整備は ① 身近に感じられる複合施設への考えは

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	関 島 百 合 (会派みらい) 【 40 分 】	② 他の文化施設が担ってきた役割とつながる部分は (4) 飯田市歴史研究所の状況は ① 施設整備に向けた考えは ② 古文書等の史料の収蔵状況は ③ 収蔵史料に検索機能を設ける考えは ④ 持続可能な研究体制の考えは ⑤ 21年目を迎える飯田市歴史研究所への市長の思いは
13	清 水 優 一 郎 (新政いいだ) 【 40 分 】	1 地域防災力の維持・強化について (1) 予測される巨大地震や激甚化する風水害に対しては特に、自衛消防組織や自主防災組織への積極的な支援がこれまで以上に必要と考えるがどうか 2 小・中学校の教育環境の充実について (1) 「飯田市これからの学校のあり方審議会」の一次答申を踏まえ、当事者を中心に早急に検討を始める必要があると考える。今後の検討の具体的な進め方とスケジュールはどう考えているか 3 持続可能な地域自治について (1) 地域社会を取り巻く環境変化を踏まえ、これからの地域づくりにおける行政の役割をどう考えるか。また、多様化する住民ニーズや地域課題解決のために行政はどう貢献するか 4 いいだ未来デザイン2028後期計画の基本的な考え方について (1) 市の総合計画は、誰の、何のために策定し、その実現を目指すのか。市長の考えは
14	原 和 世 (会派みらい) 【 40 分 】	1 市の財政運営について (1) 今後10年間の財政見通しと財政運営目標に関して ① 財政見通しによると財政調整基金が令和11年には底をつくことになるが市長はどの様に受けて止めているか ② リニア関連事業と文化会館建設が要点と思うが、どのように考えていくか ③ 歳出に関して増加が見込まれる特徴的な歳出項目として人件費・物件費・扶助費があるが、その背景は何か

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世 (会派みらい) 【 40 分 】	④ 期間内に実施を見込む普通建設事業費の内訳と財源見込みを示すことは ⑤ 地方債300億円を期間内の目標とした考え方は ⑥ 行財政改革大綱の令和6年度実行計画にある「実態に即した無理のない堅実な財政運営の実現」の具体的な内容は